



10月号既報のとおり、国際交流協定校の西北大学(中国・西安市)は平成16年10月、同大学博物館所蔵の「遣唐使墓誌」を公表した。同年8月に日中国際学術シンポジウムを同大学で開催したおり、公表前の墓誌を見学する機会を得た本学の研究者は、同大学の研究者と共同で「遣唐使墓誌研究特別プロジェクト」を発足させた。

このたび、同大学から研究者を招き、朝日新聞社と共催で共同シンポジウム及び市民セミナーを平成17年1月に開催することが決定した。

西北大学からの研究者は方光華教授(文博学院院长)、王建新教授(考古学系主任)、王維坤教授(国際文化交流学院副院长)、賈麦明副研究館員(歴史博物館副館長)の4人。

開催にあたり荒木敏夫文学部長は「さまざまな分野の研究者が墓誌に記されている『171文字』に興奮を覚えており、シンポジウムでは非常にスリリングなやりとりが期待される」と話している。

## 共同シンポジウム 新発見 遣唐使の墓誌をめぐって

【1月28日(金)10時～18時50分】※お申し込み受付は終了しました。

『新発見 遣唐使の墓誌をめぐって ～1270年の時を超えて蘇る遣唐使の夢～』

場所＝有楽町朝日ホール・定員600人

◇講師及びテーマ◇

	講師	テーマ
(1)	方光華	西北大学で考古学的に発見された文化財と古代日中文化交流
(2)	王建新	日本留学生と遣唐使
(3)	王維坤	井真成の渡唐の歴史的背景と改名の問題
(4)	賈麦明	井真成墓誌に関連する問題の基礎的研究
(5)	気賀澤保規(明治大学教授)	「井真成墓誌」をめぐる疑問と尚衣奉御
(6)	亀井明德(本学教授)	井真成墓の位置と構造
(7)	土屋昌明(本学助教授)	「井真成墓誌」の書道史的意義
(8)	鈴木靖民(国学院大学教授)	遣唐使「井真成」とその出自
(9)	東野治之(奈良大学教授)	遣唐使と葛井氏
(10)	矢野建一(本学教授)	第10次遣唐使と「井真成」

## 市民セミナー 遣唐使とその時代 –『井真成』墓誌の物語るもの–

【1月29日(土)13時～18時15分】※お申し込み受付は終了しました。

『遣唐使とその時代 -「井真成」墓誌の物語るもの-』

場所＝神田キャンパス303号教室・定員400人

(1)	東野治之	井真成の墓誌を読む
(2)	矢野建一	井真成とその仲間
(3)	亀井明德	唐土に眠る遣唐使
(4)	松原朗(本学教授)	唐詩にみえる「日本」
(5)	王建新	日本留学生と遣唐使

※セミナー後に王維坤、賈麦明、方光華の各氏によるコメントも発表の予定。

---

申し込みありがとうございました！

多数の方々からの申し込みをいただきましたことを、心より感謝いたします。

両日とも1,200名以上の方から参加申し込みがございましたが、会場の収容定員に制限があるため、やむなく抽選とし、1月19日付けで入場券を発送しております。

お申し込みいただいたにもかかわらず入場券をお送りできなかった方には心よりお詫び申し上げます。

今後とも、「社会知性の開発」をめざす本学の教育・研究活動について、暖かく見守りくださいますようお願い申し上げます。

【ニュース専修2004年12月号1面】

## 司法試験、公認会計士第2次試験合格者祝賀会

04年度の司法試験、公認会計士第2次試験の合格者祝賀会が12月7日、神田キャンパスで開催された。

本学の両試験合格者は16人で、出牛正芳理事長、日高義博学長はじめ関係者多数が祝福した＝写真。最後に12年ぶりに司法試験の現役合格を果たした鈴木康祐くん(法4)が喜びのあいさつをした。

今年の司法試験合格者は過去最多の1483人で合格率は3.42%。現役大学生は241人で全体の16.3%だった。

公認会計士第2次試験は、合格者1378人でこちらも過去最高。合格率は8.4%で現役大学生は236人(全体の17.1%)だった。



---

## 司法試験・公認会計士第2次試験合格者

司法試験8人(現役1人含む)公認会計士第2次試験8人

今年度の司法試験最終合格者と公認会計士第2次試験の合格者は下の通り。このうち3人に話を聞いた。

司法試験 8人

吉川拓威さん 伊志嶺公一さん 早川孝志さん 堀一策さん

松浪恵さん 安達慎司さん 内田和利さん 鈴木康祐くん

公認会計士第2次試験 8人

甲斐賢一さん 玉井憲治さん 中村仁さん 中村謙志さん

永井重徳さん 千葉将人さん 大向敏夫さん 新里宜史さん

## 司法試験合格 内田 和利さん

中学生の時、弱者の立場に立つ人権派の弁護士になりたいと決意、司法試験を目指しました。きっかけは「松本サリン事件」で、被害者でありながら警察とメディアによって容疑者扱いにされた河野義行さんの事件にショックを受けたことからです。

卒業1年目で合格出来たのは家族、友人、ゼミの仲間、先生方など周りの多くの人々に支えられてきたおかげです。特に受験情報を交換できる仲間がいたことは、大きな心の支えとなりました。加えてエクステンションセンターのバックアップ体制など、専修大学ならではの勉強意欲が出る制度も大いに励みでした。受験勉強では、基本の反復継続と共に緊張感を持った勉強を心がけました。メリハリも大事で、余暇には好きな和太鼓に汗を流しました。

---

## 世界で活躍する弁護士を目指す

### 司法試験合格 鈴木 康祐くん

高3の受験勉強時に自らの挑戦として、一番難しい国家試験突破を決意しました。現役での合格は、専大での素晴らしい出会いがあったからこそと思っています。まず「法」に関する学問の面白さを教えて下さったゼミ指導の佐々木和夫先生、共に司法試験突破を目指しいつも温かく激励して下さい下さったゼミの先輩の内田和利さん、エクステンションセンターの対策講座で指導していただいた相村寛道先生……。専大に入学したからこそ出会えた皆さん方のおかげで、受験勉強は「面白かった」というのが本当の気持ち。目標は大きく、国際的に活躍する弁護士を目指します。

---

## ポイント見極め効率的な学習を

### 公認会計士第2次試験合格 新里 宜史さん

両親から「会計の知識はどの企業でも必要」とアドバイスされ、会計学科に進学。2年次でエクステンションセンターの「会計士講座」が始まり、将来の目標に決めました。

幅広い試験範囲なのでポイントを見極め効率的な学習をした点が功を奏したと思います。苦手な暗記科目は通学時間を利用して克服し、時には高校時代のバスケット部の友人と汗を流すなどして気分転換を図り、長丁場を乗り切りました。「今回は最後のつもりで頑張れ」と両親から励まされ、約束を果たせました。信頼される会計士となるため、より高度な知識を身につけ経験を積んでコンサルティング業務に携われるようになりたいです。共に励まし合った友人も合格。身近に同じ目標をもった仲間がいるのは心強かったです。

【ニュース専修2004年12月号1-2面】

## 大学院経済学研究科修士課程に「長期在学コース」

社会人に高度な生涯教育の場を

高度職業人の育成、社会人の生涯教育、学部教育を超える高度専門教育を掲げ、コース新設などの抜本的な改革に取り組んできた大学院経済学研究科(町田俊彦研究科長)では、2005年度(平17)から「長期在学コース」を設置する。

このコースは大学卒業後、長期にわたり教育・研究から遠ざかっていた人や、職業に従事しながら高度な知識・能力等を修得することを希望する人など、多様な大学院教育のニーズに応えることを目的としている。

05年度は特に「社会人に対する高度な生涯教育」の充実を狙いとし、標準修業年限4年コース(最長在学年限は6年、休学は通算して2年)を設定。4年間の履修計画により、修士論文作成に向けて研究の深化を図ることができる。また授業料を長期的に分割納入できるため、1年間の経済的な負担が少なく、退職者や主婦の方の勉学意欲に応えることも可能となる。

- 出願期間=05年1月31日(月)から2月7日(月)
- 試験日=2月19日(土)
- 募集人員=若干名。通学するのは主として生田キャンパス。

※出願資格及び入学試験の詳細、カリキュラム等については大学院事務課へ。電話044(911)1271

---

## 阿部川崎市長を表敬訪問

「箱根駅伝」出場の陸上競技部



2年ぶり61回目の箱根駅伝(第81回東京箱根間往復大学駅伝競走)出場を決めた陸上競技部の加藤覚監督と部員6人が12月7日、阿部孝夫川崎市長を表敬訪問した。

三島英雄専修大学専務理事、新関光一体育事務部長らと共に市役所を訪れた部員たちは、阿部市長から「新春の箱根路を、緑のタスキをかけた皆さんが快走することを期待しています」と励まされた。尾曲和輝主将は「練習中、川崎市民から熱い声援をいただいた。声援を力にチーム全員で頑張ります」と決意を表明した(関連記事6・7面)。また、渡辺政春総務部長が、学生自治会ほかから寄せられた新潟県中越地震の義援金176万5500円を阿部市長に手渡した。

## 『今村力三郎先生立像』

キャンパス探訪 22 アートの旅

今村力三郎は1946年(昭21)第5代総長(卒業生としては初)に就任、54年に亡くなるまで勤めた。本年は没後50年で、記念展示会や講演会も開かれた。専修学校在学中の1888年(明21)代言人(弁護士)試験に合格、明治・大正・昭和の3代にわたり法曹界で活躍。足尾鋇毒事件、大逆事件、五・一五事件、帝人事件などを担当、事件派弁護士として高名である。

母校への思いは深く、総長就任時には80歳を超えていたが、私財を投じて戦後の本学の中興に尽くした。「今村力三郎文庫」「今村学術奨励基金」「今村法律研究所」など彼の名を冠したものも多い。神田図書館閲覧室の一隅に、高さ50センチほどの立像は置かれている。法廷衣ではなく、フロックコート姿で毅然と、風格に溢れる。今村は総長就任以前にも、評議員、理事を務めている。42年5月に大学が彫刻家・横江嘉純に依頼、制作したものである。

本学創立125年を迎えるに当たり、神田キャンパスに大学の先達たちのブロンズ像を訪ねた。



【ニュース専修2004年12月号1面】